広報 にっこう
2007年3月1日号
平成19年3月1日発行

日光今昔物語

第十二話

～ 裏見の滝 ～

明治期の裏見の滝

歩道が整備された現在の裏見の滝

裏見の滝は、大谷川の支流である荒沢川の上流にあり、華厳の滝、霧降の滝とともに日光三名瀑の一つに数えられます。

かつて奥の細道で日光を訪れた松尾芭蕉は、この静寂な滝を前に「暫時(しばらく)は滝に籠(こも)るや夏の初(はじめ)」という句を詠みました。

滝打ちの行などが行われてきた霊場でもあり、滝の裏には不動明王が祭られています。以前はその名のとおり、裏側から滝を見ることもできました。しかし今では、岩盤の崩れなどで危険なため、滝の裏から趣のある眺めを楽しむことはできなくなってしまいました。

また、明治期には滝の脇に茶屋がありましたが、水害により流されたり、滝の落ち口が徐々に決壊したりと、自然の力の前にその景観も少しずつ変わってきています。現在では木製の歩道が整備され、滝のそばでその清い飛沫(ひまつ)を感じることができます。

2月の人口と世帯数

※住民基本台帳による(2月1日現在)
※(　)内は前月比

	男	女	計	世帯数
今市地域	31,063人(-3)	32,019人(-1)	63,082人(-4)	22,258世帯(+21)
日光地域	7,833人(-26)	8,519人(-26)	16,352人(-52)	6,499世帯(-7)
藤原地域	5,109人(-12)	5,589人(-9)	10,698人(-21)	4,712世帯(-14)
足尾地域	1,446人(-10)	1,626人(-4)	3,072人(-14)	1,646世帯(-3)
栗山地域	973人(-2)	980人(-4)	1,953人(-7)	776世帯(-4)
日 光 市	**46,424人(-54)**	**48,733人(-44)**	**95,157人(-98)**	**35,891世帯(-7)**

今月の表紙

1月27日(土)から2月28日(水)まで、湯西川温泉で氷のぼんぼりとかまくら祭が開催されました。子どもたちには、そり滑りができるジャンボ滑り台が大人気。かまくらの中でのバーベキューも人気で、連日、お昼ごろには会場中にいい香りがたちこめていました。

一喜一憂

大雪が降った昨シーズンとは打って変わって、雪の少ない今年。取材に出かけると暖冬を実感します。

2月11日に開催された花市は、一年のうちで最も寒い時期のイベントです。毎年、これでもかというくらい着込んで取材していました。ところが今年は、風は強かったものの日差しが暖かく、植木を売る露店には、満開の梅が並んでいました。

暖冬はさまざまな分野に影響します。季節を感じるためにも、冬は寒く、夏は暑くあってほしいと思ますが、暖かい日が続けば、4月号に桜の写真が間に合うかも…などと期待もしてしまいます。(喜多)

編集：日光市企画部秘書広報課　☎21-5135
〒321-1292　栃木県日光市今市本町1番地
URL　http://www.city.nikko.lg.jp
E-mail　koho@city.nikko.lg.jp
印刷：㈲三興社印刷所

R100　PRINTED WITH SOY INK
「広報にっこう」は古紙配合率100%の再生紙と大豆油インキを使用しています。